

- 他党派が行った予算特別委員会の総括質疑の質疑の概要をご紹介します。

2000年予算特別委員会総括質疑2000、3、17

齋藤彰（自民党、舞鶴市）

1 行財政運営（予算案は「財政健全化型」「府民サービス維持型」で高く評価。

①税収見通し、②今後の行財政運営に当たっての決意）

【知事】 ①平成12年度予算では、大きく落ち込んだ11年度予算と同様で、2750億円を計上。税収は特に法人2税が厳しく、昭和57年度と同じぐらい。近いうちの税収回復はみ込めない。②義務的経費増で厳しい財政運営に直面。国からの財源確保につとめ、人件費の抑制（初めての前年度比減）など内部改革に取り組み、財政健全化指針に基づいてすすめている。今後は税収増が見込めない中で、財政再建団体への転落は何としても回避し、すすめている行財政改革をいっそうすすめ、新たな改革も含め決意している。

2 農業問題（新農業基本法の理念の具体化を望む。①本府農政の成果と本府農業の全国的位置、②今後の農業振興施策）

【知事】 ①平成2年から平成10年までの変化は、農業粗生産額では耕地面積が京都より3～4割多い島根県や石川県を追い抜き、全国で12.5%減少のなかで3.4%の減少にとどまり、全国4位の好成績。野菜の粗生産額の伸びは17.5%増で、全国5位。ブランド化推進の成果。農業政策は間違いはなかった。②農業粗生産額の全国シェアの拡大、地場消費などにつとめる。

3 原子力防災体制の充実・強化（人的体制整備が重要課題。①原子力防災専門委員の設置の考え方、業務、②担当職場の体制強化）

【知事】 ①原子力新法に基づく施策をすすめるため、現在大学関係者など数名にお願いするため事務をすすめている。②消防防災課に原子力等安全対策を担当する2人を新設する。

4 北部地域の産業振興（機械金属の振興）

【知事】 本年4月から織物指導所と中小企業総合センター北部技術支援室を、織物・機械金属センターに発展的に再編整備し、同センターを中心に、中小企業振興公社とも連携し、総合的な支援を強めたい。

5 警察（不祥事についてどう考え、対策をとるか）

【警察本部長】 相次ぐ不祥事に心からお詫びする。再発防止に全力あげて取り組んでいるさなか起きたことは、残念、申し訳ない。職員に徹底していないことがわかった。職員への指導監督の徹底、誇りと使命感を植え付けるための職務倫理教養の徹底などに全力を挙げて取り組む。

奥田敏晴（自民党、城陽市）

1 日産車体対策と信用金庫の再編対策 (①日産車体京都工場の縮小による雇用対策や下請企業対策等、②信用金庫再編に伴う経営を守る対策と従業員の雇用 確保対策)

【知事】 ①日産車体対策連絡協議会を通じ、地元市や町、商工会議所との連携をはかるなど精一杯取り組んでいる。下請企業は個別面談がおこなわれており、状況把握、必要に応じて融資や受注斡旋などに取り組む。②関係機関や信用金庫に適切な対応を求め、府としても連絡会議を開催、情報交換と取り組みの協議をしている。中小企業総合センターと宇治地方振興局に相談窓口を置いて対応したい。

きびしくなった融資対策について要望し、貸し渋り特別保証の 3000 億円の枠を活用する。従業員の雇用は関係企業に確保と再就職確保を要望している。国の緊急雇用安定地域指定などにより国の助成制度の早期活用を要請している。

2 障害児教育等 (①城陽養護学校でのボランティア活動の成果と今後の展開、府立盲・聾・養護学校の卒業生の進路状況、②こども発達支援センターの、向日が丘療育園との機能のちがひ、役割、施設内容)

【教育長】 ①生徒の生きる力をつけることに大きな成果があった。養成講座では 16 名がボランティア登録された。本年度の卒業生 147 名のうち、専修学校などへ 15 名、製造業やサービス業への就職が 40 名、授産施設・共同作業所を含む社会福祉施設へ 82 名、137 名の進路が決定。未決定 10 名は、職場実習中や大学合格発表待ちなど。

【知事】 ②いままで向日が丘療育園が南部地域の障害児の療育訓練をおこなう施設として役割を果たしてきた。障害の重度化、重複化がすすみ高度な療育の実施や市町村の障害児通園事業などへの支援が求められており、これに対応するため、向日が丘療育園を、南部地域に移転改築し、新たな療育拠点施設として整備をはかる。市町村の通園事業では対応が困難な重度の障害児が通園する施設として必要な機能を備えたものにした。府内各地の療育事業を支援する広域的な役割を果たすなどができるようにしたい。

3 交通渋滞対策等 (路上工事縮減対策推進協議会の設立目的、構成、活動方針、効果等)

【警察本部長】 このたび協議会が発足、警察、建設省、府と京都市の道路管理者や京都市の上下水道、大阪ガス、関西電力、NTTなどで構成。同じ場所で工事をする計画がある場合にスケジュールを調整・共同して、交通確保などをはかるもの。初会合では、工事の回数や期間を縮減するための目標数値設定などを審議した。

4 道路網の整備 (府南部の交通渋滞の課題は喫緊の課題、①第二名神高速道路の進捗状況と見通し、②大久保バイパスの大久保田原交差点の立体交差事業の進捗状況と完成の見通し)

【知事】 ①JR奈良線から東側の地域で路線測量や土質調査が実施されており、残る京田辺・八幡地域では地元説明会后、測量が実施されている。②平成10年度から建設省で立体交差事業が取り組まれている。高架橋の下部工が完成、上部工の工事に着手されており、平成12年度内の完成をめざしてすすめられている。

菅谷寛志 (自民党、山科区)

1 中小企業の育成・支援 (京都経済の再生・活性化にはベンチャー企業等への支援が必要。中小企業振興施策をどうシフトさせるか)

【知事】 来年には、中小企業の経営革新の取り組みに対する助成、ベンチャー企業いくせいのため「けいいはんなプラザ」の貸し研究室を安価な料金で提供する事業等を実施。

創業に対する低金利融資の新設などに取り組む。

2 新しい総合計画の数値目標化（数値目標化推進と評価システムの構築）

【知事】 府民との懇談会をしている。わかりやすさと府民の参加しやすいことが重要で、提案の趣旨に沿うようにしたい。

3 環境対策（①環境基本計画策定後1年半の取り組みと今後の対策、②容器包装リサイクル法施行に向けての対象企業の登録状況と登録促進策）

【知事】 温暖化ガス削減目標の設定、ISOの認証取得、風力発電の建設促進などすすめてきた。地球環境大賞も受けた。②広報誌などでの事業者への周知、関係団体への協力要請などしている。登録案内に対し9%程度が登録している。登録促進に努める。

4 府市協調（京都府と京都市の役割分担や新たな協調が求められる。どんな視点ですすめるか）

【知事】 選挙の応援でも言ったし、梶本候補も大きな柱とされた。その結果の圧勝であり、市民から見て、府市協調の期待が大きいし、主張した責任もあると思い、市長の当選後の挨拶の時も確認し合い、府幹部にも強く言った。地下鉄東西線の六地蔵延伸、京都駅改築、京都高速道路整備、深泥が池保全、京の川づくりなど、また、京の職人さん雇用創出事業など伝統産業対策、不況・雇用対策などさまざまな分野で効果が出てきている。